

新年

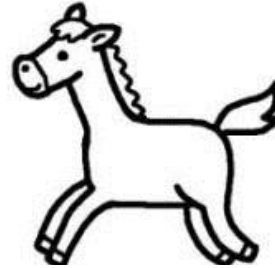
明けまして おめでとうございます

旧年中は大変お世話になりました
本年もどうぞよろしくお願ひします



2014年は、午年です。
「ものがとがウマくいく」とか「幸運が駆けこんでくる」といって
とても縁起のよい動物です。

また、生まれたての仔馬が生後一時間ほどで立ち上がり
三時間もしないうちに走り出すことから、
「立ち上がり早い」とか「立身出世の象徴」とも。



さて、今年はどうな一年になるのでしょうか。
馬にまつわる教えの中で、有名な中国の故事
「人間万事 塞翁が馬」というお話があります。

昔、中国の老人（塞翁）の馬が逃げてしまい、人々が気の毒がると、
老人は「不幸なこととは限らない」と言った。
やがて、その馬はすばらしい駿馬を連れて戻ってきた。
人々が祝うと、今度は「幸運とも言い切れない」と言った。
しばらくして駿馬に乗った老人の息子が、落馬して足の骨を折ってしまった。
人々がそれを見舞うと、老人は「こんな不幸も幸運の基となる」と言った。
一年後戦争が起こり、周りの若者たちはほとんど戦死した。
しかし足を折った老人の息子は、兵役を免れたため、戦死しなかった。
世間の幸、不幸とは常に変化し、予測できないことを
老人は知っていたのだった。



「不幸だ」「幸運だ」と物事を分別するのは、
所詮、自己中心的な、自分の小さなはかりが判断するもの。
どんなことが起ころうと喜び過ぎず、悲しみ過ぎず、
自分のはかりで物事を判断しない、
これを仏教では「無分別智（むぶんべつち）」といいます。
今年一年これを胸に、落ち着いた日々を送れたらと願ひます。

1月15日（水）

大智寺 大般若会（だいはんにゃえ）

10時～祈祷法要 11時～うどん接待 13時～お焚き上げ

新年、皆様の無病息災、五穀豊穡を願ひ、
一年に一度、「大般若会」という祈祷法要を行います。
法要後には、温かいおうどんをみんなにいただきます。



祈祷致しました「大般若札」という大判のお札は、
檀家様及びご希望される一般の方々にお配りします。
このお札は、災いが家に入らないよう玄関に貼っていただきます。

13時からのお焚き上げには、一年間お世話になったお札類や
白木位牌、法要後の塔婆など燃えるものであれば
お受けしますので、お気軽にお声かけください。

大智寺だより

平成26年 睦月
Vol.47

発行所
大智寺

岐阜市山県北野
668-1

電話：058-229-1532

《Mail》

hybsr245@ybb.ne.jp

《ホームページ》

大智寺

検索

<http://www.daichi-ji.com>

当紙は、大智寺本堂及び墓地
の水小屋にてご自由にお取り
いただけます。
又、当寺ホームページにて
過去のすべての紙面をご覧いた
だけます。ご活用ください。

12月号発行部数
200部

ご愛読
ありがとうございます

～ シリーズ 美濃西国三十三観音霊場 その⑦ ～
4年に一度の総開帳 平成26年4月6日(日)～4月20日(日)

大智寺巡礼バスツアー 参加者募集



この機会に、お友達やご家族お誘い合わせの上、
と一緒に巡礼してみませんか？
以前巡礼された方の場合、もう一度巡礼すると、
納経帳に再びご朱印をいただけます。



● 日程 平成26年4月8日(火)・9日(水)
(日帰り2日間かけてと一緒に美濃西国三十三観音霊場へお参りします)

● 参加費用 お一人様 13,000円

貸切バス代 + 昼食2回分 + 御朱印料(1ヶ寺100円 計3300円) + 旅行保険代 + 御納経帳
※ 美濃西国霊場会指定の御朱印帳をすでにお持ちの方は、12,500円となります。

● 行程予定 (両日 集合8:00・解散17:30 前後を予定)

【一日目】

大智寺周辺 ⇒ 龍福寺 ⇒ 神光寺 ⇒ 立蔵寺 ⇒ 新長谷寺 ⇒ 徳雲寺 ⇒ 宝積寺
⇒ 万尺寺 ⇒ 祐泉寺 ⇒ 小山寺 ⇒ 龍福寺 ⇒ 清水寺 ⇒ 禅徳寺 ⇒ 日龍峰寺
⇒ 吉祥寺 ⇒ 来昌寺 ⇒ 宝勝寺 ⇒ 鹿苑寺 ⇒ 大智寺周辺 (17ヶ寺)



【二日目】

大智寺周辺 ⇒ 弘誓寺 ⇒ 三光寺 ⇒ 甘南美寺 ⇒ 東光寺 ⇒ 広蔵寺 ⇒ 大龍寺
⇒ 法華寺 ⇒ 護国之寺 ⇒ 崇福寺 ⇒ 美江寺 ⇒ 善福寺 ⇒ 乙津寺 ⇒ 願成寺
⇒ 恵利寺 ⇒ 永昌寺 ⇒ 大智寺 ⇒ 大智寺周辺 (16ヶ寺)

※ 集合場所や解散場所は、参加者の募集後に再度ご不便のないよう考慮してご案内致します。
ちなみに前回は、北野JA跡地や西山バス停、出屋敷を回りました。
また、何かの事情で行程を変更する場合があります。ご了承ください。



●お申込み締切 2月28日まで

大智寺まで、参加費用をご持参の上お申し込みください。



お友達同士まとめてお申込みされる場合、ひとり一人のご住所とお電話番号を伺いますので、
よろしくお願ひいたします。

霊場のご紹介

第十九番札所 : 臨済宗妙心寺派 乙津寺(岐阜市) ご開帳: 十一面観世音菩薩
日本三大弘法の一つのお寺、十一面千手観音菩薩像は国の重要文化財となっています。

第二十番札所 : 臨済宗妙心寺派 弘誓寺(山県市) ご開帳: 聖観世音菩薩
土岐成頼が建立し、祈願寺となった椎倉のお寺。山に登る石段に昔日の信仰を垣間見れます。

第二十一番札所: 臨済宗妙心寺派 宝積寺(加茂郡) ご開帳: 聖観世音菩薩
瑞泉寺4世が隠察として建てた木曾川沿いのお寺、本堂には梶浦逸外禅師の揮毫額がかかる。

総開帳の期間中 境内に立てる観音様ののぼりを奉納して下さる方を募集しております。
のぼりには、施主様の御名前を記入させていただきます。(一本 2,200円)



～ 観音様の教え 『延命十句観音経』 ～

第七句：朝念観世音（ちょうねんかんぜおん）

子どもも唱えられる 一番短いお経から、
観音様の教えを簡単にご紹介。



さて第六句までは、観音様の教えがギュッとコンパクトに詰まっていた。

今回からは、私達の心の中にお話に移ります。

第七句「朝念観世音」・・・朝な朝なに観世音を念じます。

「念ずる」とは、心の中で常に思い浮かべることです。

では何を心に思い浮かべて念ずればいいのでしょうか。

もちろん自己中心的な願い事を叶えてもらうために念ずるわけではありません。

観世音菩薩様の教えはどのようなものだったか

第六句までの内容を心の中で反復しながら、

自分の心にまかれている「仏心（ぶっしん）の種」が発芽することを念ずるのです。

「右仏 左凡夫（ぼんぷ）と合わす手の 中にゆかしき 南無（なむ）の一声（ひとこえ）」

皆様の右手は仏様の手、左手は自分のことばかり考える常日頃の自分の手、

その両手を合わせ合掌すると、ハスの花のつぼみの形になります。

耳を澄ませばつぼみの中から聞こえるはずで、誰にでも備わっている仏心の声。

今月のひまわり

皆様、初春のお慶びを申し上げます。

寒さが身体の芯までこたえるこの頃、風邪の流行

も心配されますが、いかがお過ごしでしょうか。

一月は「睦月」と呼ばれ、一家が睦まじく過ごせる

月です。家族がそろって笑顔で過ごすことが、実は

福を呼ぶ一番の秘訣かもしれません。

さて一家楽しく過ごすのに「役買」のが、おせち料理ではないでしょうか。今は、おせち料理よりもっと素敵なお家庭の祝い料理があるかもしれません。私はこのおせち料理の食材を買いに出かけると、いつもにぎやかなスーパーの中で、場違いに思いつくお話があります。

懐かしい「かさこじょう」のお話です。私の一番好きなお話です。「もう正月がすぐそこまで来ているのに、餅粉の用意もできないの」「ほんのう」「なんぞ売るもんでもあればええがのう」「なんにもありやせん」「貧乏で、お餅もつけない夫婦の会話に反発や文句はなく、どこまでも和やかです。「帰りに餅粉買ってくるから」と出かけたおじいさんが、売り物の傘をお地藏様にかぶせ、何も持たずに帰ってきて「冷たかろう、囲炉裏にあたりやんせ」と温かく迎えてくれるおばあさん。二人は唄いながらお餅付きのまね事を始めます・・・

今年一年、色々なことがご家庭に起こることと思います。でも一番大切なことは、相手を思いやり、ユーモアと笑顔を忘れず、和やかに過ごすことではないでしょうか。私は料理下手ではありますが、そんな思いをおせち料理に込め一年の福を祈ります。



～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪ 北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ ♪

里4号のおばあちゃん 小松菜のとろーりご飯のつけ

- ① 小松菜ふたつかみ分くらい（だいたい市販の袋半分くらい）を細切れにする。
- ② えのき2袋分を同じように細切れにする。
- ③ フライパンに小松菜とえのきを入れて、しょうゆとみりん大さじ2、酢と砂糖大さじ1をかけて、よく炒める。私はだしの素もちょっと入れる。
- ④ 水分が出て、えのきがとろーりしてきたら、出来上がり。



お正月に使った小松菜の残りで作るんやけど、6～7分で出来上がってまうで簡単やよ。作った次の日になると、もっとおいしくなる。ほかほかの白いご飯にのせてみやー。



～ うちの宗教って、どんなんやっけ? ～

第十三回：禅宗の看板文字

大智寺の宗門を、やさしく簡単におわかりいただければ嬉しい、そんなお話



— 「こだわり」ととらわれない、仏心（ぶっしん）の境地を求める —
これが私達の教義、目的であり、この境地に到達することを「悟り」といいます。

そしてご存じのように、禅宗では、
その「悟り」を直接自分で体験するための手段として「坐禅」をします。

さて、大智寺の本堂にギョロツとした目で坐禅をしている達磨大師様がいらっしゃいます。
今では縁起物として、お商売されているお店に飾られたり、目に墨を入れたり、
私達の日常に溶け込んでいる達磨大師様。

この達磨大師様こそは、禅宗をインドから中国に伝えた「禅宗の初祖」です。

そんな達磨大師様が、禅を説く中で掲げた言葉があります。

不立文字（ふりゅうもんじ）
教外別伝（きょうげべつでん）
直指人心（じきしにんしん）
見性成仏（けんしょうじょうぶつ）



これは、世の中に対して禅宗が掲げる看板文字のようなものです。
有名な言葉なので、見かけることも多いのではないのでしょうか。
次回から少しずつ分けて考えていこうと思います。



♪ 月に一度はお寺まいり ♪

初心者 大歓迎
東日本大震災物故者追善供養
毎月 第四日曜日
定例写経会

今月の日程

1月26日（日） 一回500円
（朝8時～9時） （内300円は義援金）
要申込

12月写経会 備忘録

この一年、この写経会で集めさせていただいた義援金は、12月24日に大智寺から妙心寺派宗務本所花園会本部に送金致しました。大智寺写経会として、平成25年1月から12月分合計18,000円送ることができました。震災の被害に遭われた方々が一日も早く日常を取り戻すことができますように、これからも微力ながら頑張りたいと思います。

永代供養墓って、どんなお墓？

「永代供養墓」とは、将来お墓を守りする方がいなくても、永代にわたって、お寺が守って供養するお墓のこと。

大智寺の永代供養墓は、ご夫婦ご家族一緒にひとつのお墓にお眠りいただけるタイプです。永代に亘り、他の方のお骨と混じらないことから、「完全個別永代供養墓」といいます。

ご希望の方は、いつでもご相談ください。



完全個別永代供養墓
1区画：38万円～
（墓石代金含む）

ご家庭のご事情により、また、その方のご希望により費用は変わります。

詳しくは、ご見学を含めてご説明いたしますので、ご予約の上、ご来山ください。